

登場人物

小田原望海 主人公であり筆者でもある。名前は仮名です。本名は隠させていただきます。

おしっこの夢 その1 大好きなあの女優のおしっこを…。

その日僕はとある女優と「とあることをする」夢を見ました。女優の名前は少し変えていますがお察しく
ださい。ちなみに僕はその女優さんが大好きです。

その日僕は夢の中で高速バスに乗っていた。そして隣にはなんと偶然、廣江しずが乗ってきたのだ。

望海「あの、廣江しずさんですよ。」

廣江「ええ。」

望海「ファンなんですよ。握手してください。」

廣江「いいですよ。」

そして握手をした。

望海「まさか御殿場アウトレットに？」

廣江「ええ。」

望海「僕も一緒です。」

そしてバスは高速道路に。そしてしばらくすると渋滞にはまった。

廣江「時間通りにつけるかな…。」

望海「わからないですね。これは遅れるかもしれませんよ。」

そしてしばらくすると…。

廣江「うう…。うううう…。」

望海「あの、どうしたんですか？」

廣江「トイレ、行きたい…。」

このバスにトイレはついていない。

廣江「え…。じゃあ終点まで我慢しなきゃいけないの…。」

もう限界そんな彼女。

望海「あの、もしよかったら僕が飲んであげます。漏らすよりはマシですし、芸能活動に傷もつきません
よね。」

廣江「ええ。でも人目が気になるな。」

僕はカーテンを外すと座席の周りに覆って隠した。

望海「ほら、これで大丈夫。」

廣江「ありがとう。」

そして彼女はワンピースをたくし上げパンティを脱いだ。

廣江「早くして…。恥ずかしいしもう限界…。」

そして僕は彼女のワンピースの中に飛び込み、彼女のお股に顔をうずめた。

お試し版はここまで。フルバージョンではこのほかに2つのおしっこにまつわる夢を書いています。